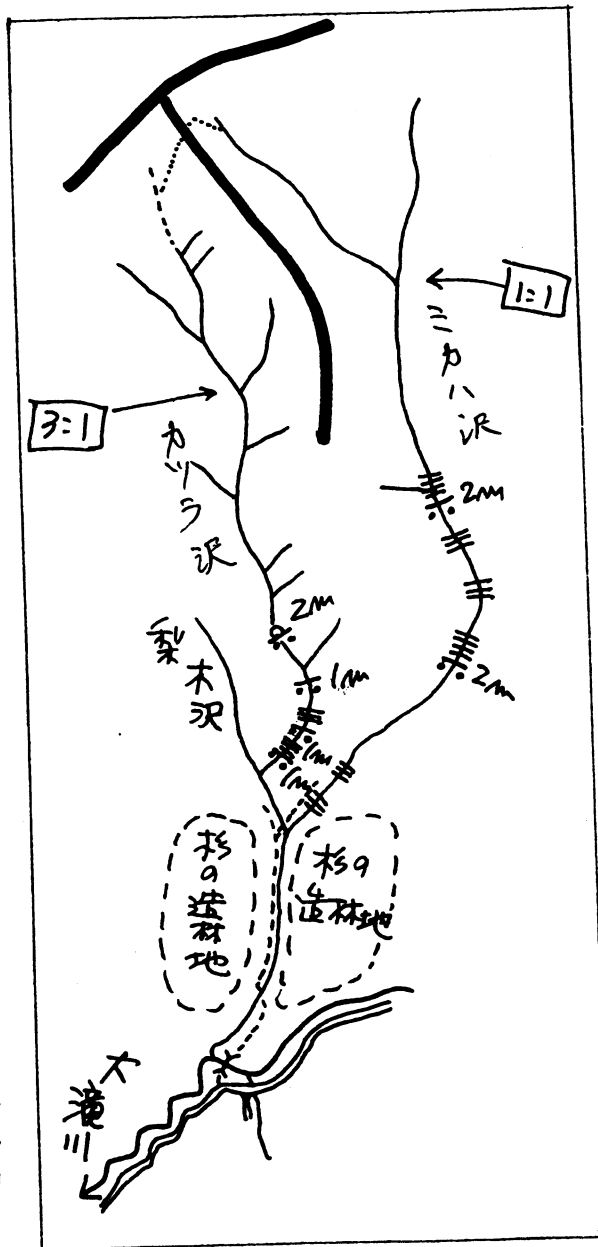


出合から沢に入り忠実に遡行してゆくが、平坦で変化もない。しばらく沢を歩いていたら、とうとう左岸の踏跡に上がってしまった。右俣（ミカハ沢）分岐で沢に戻り、左俣（カツラ沢）の遡行を開始する。すぐに左沢（梨木沢）が分岐する。等高線もまのびしているが、実際に歩いてみてもずっと河原が続く。1~2mの小滝がいくつか出てきた後は、何の変化もないままに水が溜れてしまった。

上部のヤブこぎは、背の高いササが行く手をさえぎり、思うように進めない。ある程度奥まで突っ込まないとミカハ沢に降りられないので、地図を確かめながら悪戦苦闘して右の尾根をめざす。ブナの原生林を期待して入った沢だったが、ブナの木は2~3本みかけただけで、ササの密生した源頭であった。 (記)

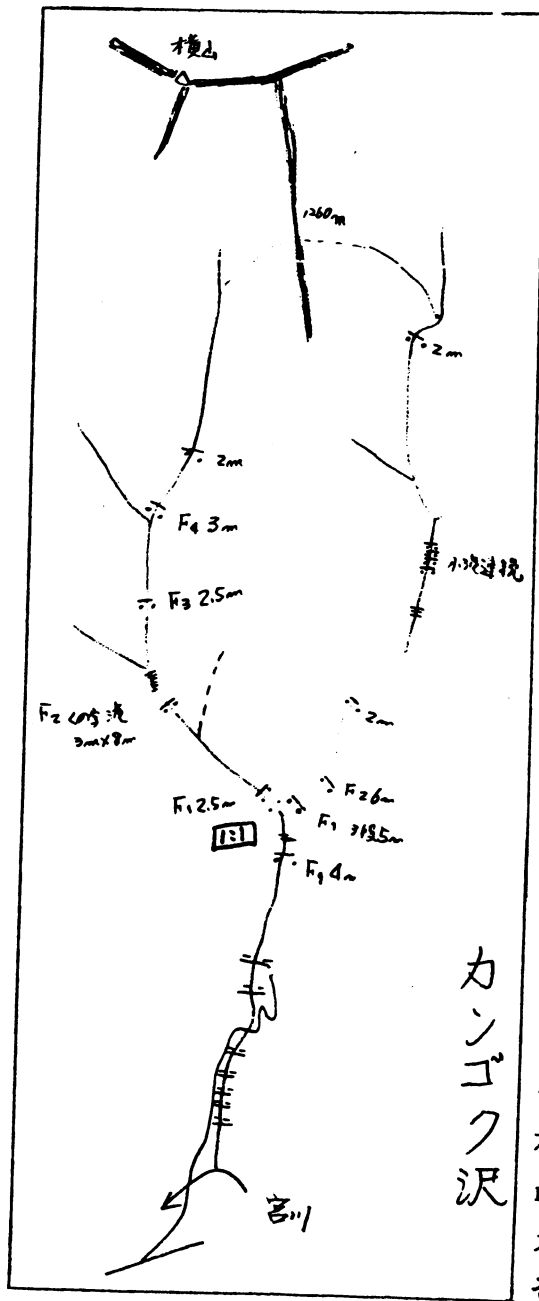
【タイム】 ゲート(7:15)→岩重沢出合(7:45)→ミカハ沢出合(8:10)→梨木沢出合(8:20)→沢終了(10:10)→尾根(10:55)



岩重沢右俣(ミカハ沢)

1994年7月9日
Lj

カツラ沢の遡行を終えて、ミカハ沢の下降に移る。傾斜がゆるやかで、水が出



てくるまで背の高いササに悩まされる。ようやく水が出てくるとササのヤブこぎからは解放されるが、それでも灌木が邪魔で歩きにくい。左俣（カツラ沢）出合までに2mほどの小滝が2つ出てきただけで、たいした変化もないまま下降を終える。カツラ沢出合からは作業用の踏跡をみつけながら林道に出る。

(記・)

[タイム] 尾根(10:55)→沢源頭(11:20)→カツラ沢出合(13:25)→林道(13:45)→ゲート(14:10)

宮川支流カングク沢左俣

1994年7月9日

L!

砂防ダム脇の広場に車を置き、沢に入る。ほどなく4m滝を通過。この後すぐ二俣となり、左俣に入る。右俣には3段5mの滝が見えていた。左俣にもすぐ2.5mの滝がかかり、直登する。右より濁沢が入ると、その先に高さ3m、長さ8mのくの字滝がかかる。ナメ沢を歩いてゆくと左から小沢が入り、その先に3つの小滝があった。やがて

水もなくなる。右手の尾根に登って遡行終了とする。

(記・)

[タイム] 砂防ダム(7:20)→二俣(7:35)→遡行終了(8:35)→尾根(9:40)